

# 福津市に世界遺産を！

未来へつなごう私たちの宝

沖ノ島祭祀を行った宗像氏の古墳群である新原・奴山古墳群

## 1. はじめに

福津市の北部にある「新原・奴山古墳群」は、宗像市の沖ノ島・宗像大社と関係が深く、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」として世界遺産登録を目指しております。「我がまちには世界遺産がある。」と言えるように、市民の方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 2. 世界遺産とは？

昭和 47【1972】年、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の総会で、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」が採択されました。略して「世界遺産条約」と呼んでいます。この条約は人や自然が作り上げた遺産の中から、人類全体のため未来に引き継ぐべき遺産を国際的な協力のもとに保護していくことを

目的としています。貴重な環境が対象の自然遺産、人類が残したい遺跡や建物が対象の文化遺産、両方の性格を兼ね備えた複合遺産があります。

2013年6月現在、世界遺産は981件（文化遺産759件、自然遺産193件、複合遺産29件）です。

vol.1



文化遺産  
メンフィスとそのネクロポリス/  
ギザからダハシュールまでの  
ピラミッド地帯（エジプト）



自然遺産  
アルプスユングフラウアレッツ  
（スイス）

### 3. 宗像・沖ノ島と関連遺産群とは

新原・奴山古墳群を含む「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、平成 21 年 1 月に「世界遺産暫定リスト」に掲載されました。世界遺産に登録されるにはこのリストに掲載される事が前提条件です。

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」には他に宗像と朝鮮半島を結ぶ玄界灘のまっただなかに位置する沖ノ島と三宮からなる宗像大社が含まれています。



沖ノ島

#### 沖ノ島

4 世紀後半から 9 世紀末まで、朝鮮半島や中国大陸との外交の成功や航海安全を祈願した島です。島内には 22ヶ所の祭祀遺跡が良好な状態で保存されており、日本における古代祭祀の変遷過程を示す貴重な遺産です。



宗像大社辺津宮

#### 新原・奴山古墳群

宗像を支配し、沖ノ島での祭祀を直接行った宗像氏と海の民の古墳群です。海を望む台地に 41 基の古墳群が密集しており、「海北道中」を支配した宗像氏と海の民の存在をよく表しています。



#### 宗像大社

沖ノ島の沖津宮、大島の中津宮、田島の辺津宮からなる神社です。九州から朝鮮半島への海上路である「海北道中（かいほくどうちゅう）」を守る宗像三女神を祭るため、島伝いに神社が造られています。

福岡県・福津市・宗像市は現在作成中の世界遺産推薦書原案を平成 26 年 5 月に文化庁に提出し、平成 28（2016）年夏の世界遺産登録を目指しています。

お問い合わせ先

福津市役所 総合政策部 世界遺産登録推進室  
TEL 0940-43-8134